

(記入例) 作家名：酒井 清一／Sakai Seiichi



「理想都市の夢と終焉 2019」流木,古木材 500×500×80cm



©伊藤雅章

略歴 ※古い年代から順に作家に関わる経歴 (5 行程度)

1953 年 千葉県生まれ

1979 年 多摩美術大学美術学部 絵画科油画専攻 卒業

1991 年～「今日の美術を考える会」事務局長としてフランス・東アジア各国との国際交流美術展や船橋市助成による公立施設での展覧会企画運営、子ども美術館設立や出版活動、社会と美術をつなぐ活動に携わる

2013 年 東北芸術工科大学 教授

作家活動 ※展覧会歴・受賞歴・收藏など新しい年代から順に (10 行程度)

■個展 | 1984 年～現在 | フランス(テールーズ、リヨン)、東京(藍画廊、アートスペース羅針盤、他)、千葉(ギャラリー睦、海、びあ)、京都等 34 回 ■国際展 | 2015 年～2017 年「日本の芸術展」“GIAPPONE IN ARTE” Villa Contarini/ Sala della Gran Guardia/ Villa Bassi Rethgeb / 「現代日本美術の巨匠版画展」“24 Stampe di Maestri Giapponesi Contemporanei”(イタリア・パドヴァ、ササーリ) / 2012 年「タイ・日本彫刻シンポジウム」“Thailand-Japan Sculpture Symposium” (タイ・チェンマイ大学 AC) / 2010 年「自然と芸術展」“NATURA AD ARTE” La Medusa CONTRO DI CULTURA(イタリア・パドヴァ、ヴェネチア) ■美術の社会活動 | 船橋アートミュージアム(清川記念館)・船橋市アンデルセン公園子ども美術館 設立・管理運営検討委員、他

■出版物 | 2013 年 “une culture de l’harmonie profession artiste : sakai seiichi” Furtherance of Centre national du livre、2000～2012 年“Penser l’art aujourd’hui” inspirations au japon, “Tanuki La galerie” no,1～no,9

作品制作コンセプト ※最大 300 文字程度

*過去の出品者の掲載内容は、<https://www.tuad.ac.jp/art-links/> サイト内「Archive」を参照ください。

現代は、テロや戦争、環境、感染問題等で地球上の生物は存亡の危機に立たされている。平和で豊かな生活ができることを願い、展示場所や展覧会テーマに合わせて、未来に守り伝えるべき大切な物を流木で造った「方舟」に積み展示してきた。近年は「都市の終焉」をテーマにしたインスタレーションや平面、BOX ART の制作も行っている。

作品写真 ※以下の欄に最大6点まで掲載してください。

1



都市の終焉 1999年 500×500×60cm

2



花の方舟 1999年 500×90×120cm

3



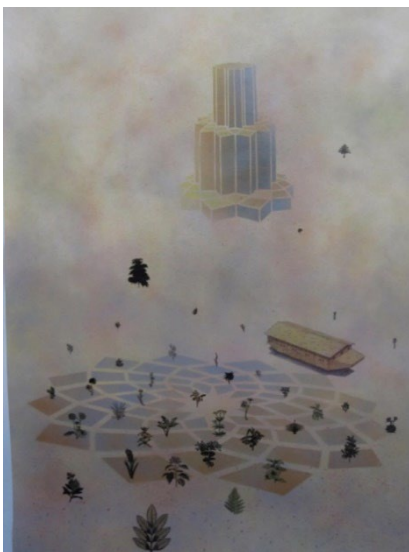
縄文の方舟 2001年

4



アララテからの始まり 2010年 55×70cm

5



アララテからの始まり、そして 2011年 100×70cm

6



記憶の方舟 13-010 2014年 28×35×8cm